

1 番 瀬 戸

受付番号第3号、質問議員1番、瀬戸恵津子でございます。

私は「町長戦略室を設置し、新たな調整運営を」ということで質問させていただきます。

町長は7月29日の第4回山北町臨時議会において4期目の町政運営に関する所信を表明された。4期目は「元気な山北のまちづくり」の総仕上げであり、今後の町政運営について今を超えて挑戦し、課題の達成を目指す政策を示された。

平成26年度から10年計画で「山北町第5次総合計画」を策定し取り生まれ、特に重要な施策・事業として優先的に実施する「町民力・地域力を発揮するプロジェクト」と「若者定住・子育て支援プロジェクト」が計画に位置づけられた。これらの指標の数値の検証や分析を「山北町第6次総合計画」に生かすために、どのように進めているのか伺う。また、やり残している課題達成のための戦略を伺います。

1. 防災に対する町民意識だが、「自助」の機運を高めるには座学と防災訓練・避難訓練が必要であり、夜間や冬場の訓練等実施はされていないが今後の計画は。

2. 山北駅前商店街の活性化について今後取り組むと表明されたが、具体的な取組は。また、駅舎の活用について過去に提案してもJR東海への要望は厳しいと答弁されたが、新たな戦略は。

さらに、旧山北交番は、本年6月定例会で土地の払下げ等は何も計画がないとのことだったが、県へ要望すべきではないか。

3. 国・県への要望が実現に至る施策が多い。町長戦略室を設置し、フレキシブルに元気な山北町の実現を目指すべきと提案するがどうか。

以上でございます。

議 長

答弁願います。

町長。

町 長

それでは、瀬戸恵津子議員から「町長戦略室を設置し新たな町政運営を」について、御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「防災に対する町民意識だが、自助の機運を高めるには座学と防災訓練・避難訓練が必要であり、夜間や冬場の訓練等実

施はされていないが今後の計画は」についてであります、「自助」は、命を守るために極めて重要であり、子どもから高齢者までそれぞれの年齢に応じ、地域の特性を踏まえながら、広く町民の方々に意識していただきたいものと考えております。

本町においては、先人の努力と相まって町の生活環境は年々向上し、幸いにして、長い間大きな被害を伴う災害は発生しておりません。自助の機運が低下しているかは定かではありませんが、その機運を高める必要性は同意するところであります。

その手段として御提案いただいた「座学と防災訓練・避難訓練」については、関連する計画の改定や頻繁に発生する台風・大雨への警戒対応などの通常業務との均衡を図りながら、充実を図っていきたいと考えております。

また、夜間や冬場の訓練等については必要性を認識しておりますが、災害対応に加えて寒さや暗さを伴う厳しい訓練となり、町という規模での実施については今後の検討課題と考えております。

ただ、必ずしも9月頃に訓練を実施するというものではありませんが、これには災害の現状を学び訓練経験を積み上げるとともに、安全管理能力の向上が必要であり、防災訓練を段階的に実施して人材を育成し、将来は夜間や冬場の災害にも対応できる防災訓練を実施できるようにしたいと考えております。災害は時期・時間を選んでくれませんが、「自助」の機運を高めながら、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

次に、2点目の御質問の「山北駅前商店街の活性化について今後取り組む」と表明されたが、具体的な取組は。また、山北駅舎の活用について過去に提案してもJR東海への要望は厳しいと答弁されたが、新たな戦略は。さらに、旧山北交番は本年6月定例会で土地の払下げ等は何も計画がないとのことだったが、県へ要望すべきではないか」についてであります、「山北駅前商店街の活性化については、商店主や商工会等も参加する「山北駅周辺魅力づくり意見交換会」をこれまで48回にわたり開催し、夕市等のイベントの開催や地域振興策について話し合っておりまして、コロナ禍ということもあり、昨年度までは実施できておりませんでした。今後も継続して取り組んでまいりたいと考えております。

また、昨年12月定例会でも御説明したとおり、商店街の活性化については、人材育成が喫緊の課題と認識しております。近年では、国の商店街振興等の支援策を利用するためには、商店街の活性化を中核的に担う方や商店主の中でリーダーシップを発揮していただける方の存在を支援の要件とするケースも見受けられますので、人材育成は非常に重要となってまいります。この対応として、商工会と連携する上で本部役員の方や部長といった方々に私の所信表明の内容をお伝えし、今後の連携方策に関する意見交換の場を継続するとともに他の団体とも連携し、山北駅前商店街の活性化に向けて、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

山北駅につきましては、平成24年3月に無人化となり、同年5月から駅舎を活用した町委託による切符販売を開始しました。また、駅舎に隣接している空き店舗の利活用につきましては、J R東海一律の高額な使用料が課題となり、利活用することが現実的に困難な状況であった経緯があります。

あれから10年が経過し、この間、切符販売員による駅利用者への声かけや観光客に対する観光案内など、山北駅でのコミュニティ形成を図ってまいりました。この切符販売事業についてはかつての「鉄道の町」としての誇りを持ち、山北駅におけるコミュニティ醸成を第一の目的としておりますので、今後も継続して実施するとともに、駅舎の新たな利活用についても調査研究してまいりたいと考えております。

また、最近では事業者や町民などからの利活用の要望は受けておりませんが、御殿場線利活用推進協議会や神奈川県鉄道輸送力増強促進会議による長年の要望活動などにより、町とJ R東海との協議の場は確保されておりますので、今後もあらゆる機会を捉えて協議を重ねていきたいと考えております。

旧山北交番につきましては、令和2年12月定例会でも御説明したとおり、昭和55年に建築され築42年が経過しており、また、当該地は御存じのとおり狭小であるため、活用方法等を総合的に勘案し払下げ等の要望はしないこととしたものであります。

現在、松田警察署では時期は未定ですが、神奈川県財産経営課に移管する準備を整えている段階であると聞いております。

次に、3点目の御質問の「国県への要望が実現に至る施策が多い。町長戦

略室を設置し、フレキシブルに元気な山北町の実現を目指すべきと提案する
かどうか」についてであります、

本年4月の役場組織の見直しにより設置した企画総務課企画班では、これ
までの企画政策課企画政策班が担当していた所掌事務から、自治会関係、広
報広聴、地域コミュニティ、統計調査などの事務を地域防災課地域協働班が
担当することで事務分掌をスリム化し、現在の町の重点課題の解決に組み
みやすい組織体制に整備いたしました。

現在、企画総務課企画班では、山北町第6次総合計画の策定、(仮称)山
北スマートインターチェンジ周辺土地利用構想の事業化、デマンドタクシー
の試行運行をはじめとする生活交通対策事業、県域を越える広域幹線道路の
整備促進などに取り組んでおり、さらに町土地開発公社の事務局も担ってい
るため、つぶらの事業用地などの公社所有地の土地利用についても調整を進
めております。

また、県町村会が取りまとめている国、県への要望関係や県議会議員団と
の政党ヒアリング、さらに毎年、県知事に対して要望や意見交換を行う首長
懇談会などの事務も担当しております。

こうしたことから御提案の「町長戦略室」については、現状の企画総務課
企画班が担う役割と大きな違いはないものと思われまますので、ここで新たに
「町長戦略室」を設置する考えはありません。

議 長 1番、瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 議長にちょっとお伺いいたします。御回答いただいているんですが、私の質
問の中の要旨の中に山北町第6次総合計画に生かすためにどのように進めら
れているのか伺うということはこの中に入っております。そして、またや
り残している問題、課題解決のための戦略を伺うということで1、2、3と
出しておりますが、その分の御答弁はいただけなかったということなんです
が、もしよろしければ分かってる段階のことでこの場でいただけるのかどう
かということ伺います。

議 長 今私のほうに質問がありました。この内容について、リード文といいます
か、前段のところの前段の後半の部分、『これらの指標の数値の検証や分析
を「山北町第6次総合計画」に生かすためにどのように進められているのか

伺う』ここが一つの質問であったという質問であるといったところによろしいですか。

ここの部分について答弁書、確かに今のところは記載はありませんでしたが、町側のところでもし答えられる範囲で回答をお願いをいたします。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 この第6次総合計画なんです、令和4年度、令和5年度の2か年で策定することとしております。その策定の準備のほうに入ってるんですが、その中で第5次そちらの部分の検証もしながら第6次を2か年かけて策定していくということを考えております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 それではそのことに関して2、3質問させていただいてよろしいですね。スケジュール感についてちょっとお伺いしたいと思います。スケジュールです。第6次総合計画の検討経緯というのを予定ですね。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 まず策定するに当たっては外部委員の会議、そちらに諮りながら進めていくということで考えております。その外部会議を、ですから年度内に1回は開催して、5年度も順番に進めていくということで考えております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 外部委員というのはどういう形ですか。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 まだ詳細は決めてないんですが、例えば第5次のとときのメンバー、ちょっとここに今資料がないんですが大学の先生とか、あと公募の委員、そういう方に大体10名ぐらいでそういう組織をつくろうということで考えております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 それでは第5次の審議会の委員の方が外部評価をするという形でこれから進めていくという形でございますね。

それでスケジュールはいいんですが、すみません。

第5次総合計画の審議会の委員のメンバーを見せていただきますと、女性の方が4人で形式的には30%超えてはいるんですが、今後50%にして、やっぱりやっていくべきではないかなと思うことで、この部分を私少し質問させ

ていただきましたかったんですが、ちょっと打ち合せが悪かったようで何も答えられなかったので、スケジュール感と審議会の女性の率ぐらいについてだけはお考え伺えると思うので、伺います。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 第6次の委員のメンバーなんですが、まだ決まってませんので5次の方がそのまま来るのではなくて、新たに6次は6次でメンバーを決めていくということ。

あと女性の登用、本当に半分ぐらい女性だと本当にいいんですが、一応まだ町としては町全体で何の委員にしても目標30%ということで考えております。

あと第5次のときの委員もちょっと苦労した部分もありまして、各団体さんで、大体長に頼むんですが、そうすると男性のほうが多かったと、何にしても。5次のとき、ある団体に頼むときに、そこはやはり男性だったんでその下の部があるんですが、そちら女性の方が部長さんでいられたんで、その団体からは部長さんをお願いするというような工夫をさせていただいて、なるべく女性の方の参画は多くということで取り組んでおります。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 何でこんな質問したか申しますと、所信表明演説の中で、九つの項目を発表されまして、山北らしくとかいろいろ表明されました。何か9つ目が、項目が第6次総合計画が「策定」とありまして、一応お答えがございましたので、ついでにビジョンも伺おうかなと思ったら、それはまた次の機会にいたします。

では、スケジュール感は審議委員のメンバーはこれからということでそれは理解できました。

スケジュール感というのは、別に決まっているわけでしょうから、どういふことされるのか、例えば伺わせていただきたいと思います。スケジュールです。スケジュール決まってないんですか。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 今、これには業者さんの支援を受ける予定になっております。そちらの入札の手続をこれから行いまして、順次進めていくということで考えておりま

す。

議 長 副町長。

副 町 長 すみません。スケジュールということを今いろいろおっしゃいましたけれど、今現在第5次の期間中でございます。ですから、今年と来年残っているわけですから、それが終わってから6次。ですから第5次、今年はまだ第5次が終わってない段階で次の段階の準備はするというので、動いているということでございます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 それは承知しております。それに5次の基本計画を読ませていただきまして、その過程の中から言うと令和4年の3月あたりに第1回庁舎内の策定推進会議でも開かれたのかなとか思いました。でも実際に動くのは令和5年、来年度の6月、1年かけてなさるということは分かっています。それに基づくとじゃあ今はどのぐらいの段階にいるのかなということは分かれば、ちょっと教えていただきたいなと思ったという次第でございます。

じゃあ答弁は課長、何かお答えできませんか。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 ですから、4年度と5年度で策定すると。それに当たってさっきの言った外部委員の会議とか、内部の会議とかを開催するんですが、それに当たっては業者のほうの支援を受けることを予定しております。これは予算のほうも通らせていただいているんですが、その今入札準備を進めておりまして、これが、それからスタート。実質的なスタートとなります。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 承知しました。また改めて質問させていただきます。

それでは、1について。防災に対して自助の機運を高めるということがすごく重要だなということから、先ほどもお答えございましたので特になんですが、機運を高めるということはすごく大事なことだと思いますので、小中学校とか、これからどんどん出ていって防災講話をすとかいうお話を伺いました。それで、そのところは承知いたしました。できるだけ体験をしなければいけないということで面白がって体験できるようなことの準備も進めて、その中に入れていただきたいと思います。

それで、防災のことなんですけど、一步をすごく少しずつ前進しているなど感じました。夜間の防災訓練の話なんでございますが、先ほども言ってらっしゃったように雨が、予定していた日に雨が降っちゃえば中止にするというような項目もたしか入っておりましたね、大雨だったらという。ですから、町長すごく大雨とかそんなときできないって、それは当然だと思います。しかしながら、御回答いただきましたように時期を変えて冬とかやるということは可能だと思うんですが、その点については今回の結果も含めて、今回夏でしたけれども、じゃあ冬はどうかということを取り入れられる考えもございませうか。

議
町

長 町長。

長 先ほども言いましたけども、自助というのは非常に重要でございますので、これに対して座学がいいかどうかは別として、やはりしっかりとそういったようなことを町民の方に理解していただくように町としてはやらなければいけないというふうに考えております。

また、防災訓練については先ほど言いましたようにあまりにも大雨とか、あるいは夜間、あるいは寒いとき、そういうようなときにやるというのは、やはり現実的ではないなと私は思っておりますので、そういったことについては別の考えで予定外のこと、想定外のことが起こるとというのが災害でございませうから、そういったことについては別の考えでやっていきたいというふうに思っております。

それと一応座学という考えも当然あるんですけども、想定するような防災意識というのは、あるいは自助については、皆さんこんなもんじゃないかぐらいのことは多分思っておりますよ。毎年防災訓練やったり、あるいはいろいろなことで自分の身は自分で守りましようよというようなことはおぼろげながら分かっていらっしゃる。しかし、現実的には、じゃあどうなんだというのは、やはり本当は起こったところ、そういったところの話を聞くなり、あるいはそこに行った、今回村上市とか行きましたけど、そういったことをやるほうがはるかに有意義ではないかなというふうに思っております。そういったような情報を、当然今回そういったような災害時応援協定をかなり多くの自治体と結ばせていただきましたので、それらのものをこ

ういうふうに相互に事案をいただいたり、また例えば村上市なんかは、うちではあり得ない、ほとんどない雪がすごいです。だから雪害対策というのをすごくやってるんです。ただ、それをうちのほうに当てはめても多分ないというふうに思ってますんで、やはり似たようなところ山間部であったり、そういったようなところを参考にしながらお互いにこういった自助についてのどのようにやっているか、そういったようなことをやはり町民の皆さんにこの自治体はこういうふうやってるよというようなことも、実際にまた災害が起きたときにこういうふうにしましたというようなことをお伝えしていくほうが私は効果が高いのではないかとこのように思ってますんで、そういったことをもう一度どれがいいか検討しながら皆さんに自助について考えていただけたらというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 自助については本当にそれぞれの心の中のことでございますので、大変それを高めるということは難しいことだと思いますが、やはりでも起こったらどうしようという頭の中で巡っていてもどうしようという動き、体の動きは絶対必要だと思いますので、できるだけ今回コロナで仕方なかったんだと思いますが、今回の訓練のやり方として役場だけでなく自治会長さんたちにすごくやっていただいたということもよかったと。本当にそうだと思います。いくら優秀な役場の職員さんがたくさんいらしても、やっぱり町民一人一人の意識が高まらないと本当に駄目だと思います。それに一人1日3リッター、5日間、5人家族、すごい膨大な量になるんです。お水の備蓄にしても。ですから、なかなかそういうこともポイント制にするとか、何か面白おかしくなるような少しそういう意味も含めて支援してくれるとか、町でこれだけやったら自分の自助力が高い家庭とか、何かポイントくれるとか何かやってみたらいかがなんでしょう。そういうお考えございませんでしょうか。

議 長 町長。

町 長 私が言いたかったのはいろんな考えがあるというふうに思っているわけです。山北町は山北町の考え、また別のところは別のそういったような自助に対する座学にしても何にしてもあるんだろうというふうに思っておりますんで、そういった広い視点でもって一番いいものを山北町でも採用したらいい

んじゃないかなというふうに思っております。そういった意味では、当然今言われたポイント制とか、そういうふうなこともあるかもしれませんが、様々な考え方が私はあるのではないかと。狭い中でこの地域の中だけで足柄平野の同じような状態の中で防災を考えるというようなことも大事だとは思いますが、もう少し広い視野の中で一体災害がどういうふうに対応すればいいのか。先ほどもちょっと申し上げましたけども、同じ町長同士ですとやはり考えることが皆さん似てくるわけです。ですから、そういう中で私は非常に参考になることが多々ありますので、そういった中で参考にできることはさせていただいて、またどういう訓練をすればいいのか、また自助、共助について、どういうふうなお知らせをして、また皆さんの防災知識をレベルを先ほどの災害の対応能力を高めていくか、そういったようなところが大事だというふうに思っておりますので、先ほど言いましたようにとにかくもう少し広くこういったような自助共助、そういったような町民意識についても考えていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 じゃあ、協定を結ばれるときにやはり規模とか考えながら協定結ぶ、その町の規模とか山北に似たとかやっぱり考えておられるんですか。

議 長 町長。

町 長 ですから、市は今のところ二つ、村上市と御殿場市ですけど、あとはみんな町でございますから人口規模とか、あるいは地形とか変わったところもあります。そのほうが災害に遭ったときにお互いに助け合えるというような利点もありますし、また逆に非常に似通ったところも当然応援協定を結ぼうというふうに思っておりますので、そういったところは非常に人口規模から地形から非常に似通っているところを考えますと、そういうのは非常に参考になるのではないかとというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 町長のコミュニケーション能力からきつといろんな各地の町長、首長さんと協定を結べる下地というか、おつくりになっているだということを聞いておりましたから、今後もぜひ山北に似た地域、山間地域でもう誰も助けに来てくれなくなっちゃうようなところのようなところでもぜひ協定を結んでほし

いと思います。

次に移ります。

次に、2点目の山北駅前商店街の活性化についてということで、御答弁いただきました。本当にJR東海は賃料も高いし、とても考えられませんみたいな御答弁いただいたんですが、今度の所信表明の中でもそういうことにも取り組んでいくよというようにいただきまして、どこか心の中で考えあるのかなとも思いますが、民間の力も借りてとか、それは商店街です。JRのことについて利用についてどんなもくろみがあるんでしたら伺います。

議 長

町長。

町 長

JR東海については答弁でも申し上げましたとおり、私も賃料の契約書保管資料を見ましたけど、まあ50年以上前のものです。JR東海さんの賃料のものに対してはちょっと私には理解できないような考えでしたんで、それをJR東海さんのほうに改めて利用が検討するような需要があったときには言わなきゃいけないと思いますけど、うちの駅舎1個だけじゃありません。全てそうですから、それについてJR東海さんがどのように改定を考えているのか、ちょっと私のほうでは今のところ分かりませんので、そういったことが一番の問題だろうというふうに思っております。

議 長

瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸

JR東海、足柄なんかすごくそういうところイメージして、他の町のこと申し上げますと山北は山北だと言われそうですけれども、よい部分は参考にしたほうがいいと思いますので、コミュニティルームとか兼ね合わせて、懸案のトイレも兼ね合わせて何とかできないものだろうかという私だけの願いじゃないんですけども、それを強くこれからも要望して展開していけるようなことをぜひやっていただきたいという思うところなんです。

議 長

町長。

町 長

利用したいということは当然町側としても、もしそういう可能性があるんなら利用したいというふうに思いますけども、しかし例えばそのお店があったところを同じように違う御商売の方が使うというようなことだと、やはりそれはただ我々としてはそれを援助するというか、話を通すというだけのことになってしまうというふうに思いますので、その辺に関してはちょっと

私のほうとしては、今現在JR東海さんのほうにそういったような事案を協議会のほうでも実際に挙げておりません。実際にある似たような、似たようなというところとちょっと語弊があるんですけど、全体を町が改修するというのは例えば小山町とか、そういったところで要望としてありました。ですから、そういったようなことで似通ったようなことであれば、もしかして可能性はあると思いますけど、ただいまの事案を皆さんが挙げてこないというのは、やはりそこにはかなり問題があるんだろうというふうに認識しておりますので、今現在、瀬戸議員がおっしゃったように仮にあその場所でこういうふうに商売やりたいんだということであれば、いくらでもJR東海のほうに話しますけど、それを町側がもしそのところを何らかの理由で使いたいということになると、全体の話をしていかないと多分話には乗っていただけないというふうに思いますので、その辺もちょっと理解いただければというふうに思ってます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 町としては難しいということと理解してよろしいですね。町として小山町のように主導して町がやろうというのは難しいという御回答でよろしいですね。

議 長 町長。

町 長 要するに、今やってることというのはJR東海さんのほうにやっているのは、町が例えば駅舎を改修して利用したいという要望はあります。しかし、民間が入りたいからそこについての賃料をとということになると私のほうとしては、単なる要望を挙げるということになりますので、その辺はちょっと理解していただいて。今現在そういう事案というのは、実際には私のほうとしては、協議会の中では実際にありませんので、それは個々の要望になるというふうに思っておりますので、その辺は理解していただければというふうに思ってます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 はい、理解しました。

それでは山北駅については相手があることですので何せ、すぐ町長がこう思うからこうやるといっても動く話でもないし、こちらからお願いに行つて

もという話でございますので、理解いたしました。

それから次に商店街のことなんですが、人材育成についてです。リーダーシップを発揮していただける方の存在を国の支援の要件とするケースもあるのでということで、人材育成は非常に重要となってきますという御答弁でした。商工会も青年部とか、すごく熱心な方がいっぱいいらっしゃいますので、ぜひ連携するという形で所信表明の内容をお伝えし、今後の連携方針に関する意見交換の場を継続するというところでございます。他の団体とも連携し、山北駅前商店街の活性化に向けて引き続き取り組んでまいりたいということでございますが、商店街の中の方たちとの意見交換のほかに他の団体と連携しというのはどういうことをお考えになってるのか。

議
町

長 町長。

長 基本的に山北の商店街に対する考え方というのは、答弁書にもございますけども今まで48回近くの話合いをしてきました。今後もそういった中で話合いを続けていきたい。そして、皆さんからのこういうふうにしたいんだという御要望があれば、町は全力でそれに支援したいというふうに思っております。

また、いろいろな事例の中から先進事例の中からやはり商店街の担うリーダー的な方がいたほうが話がうまく進んでいく事例のほうが多いわけですから、そういったものも積極的にもしそういう方がいらっしゃれば、ぜひ町としても支援していきたいというふうに思っております。

ですから、いずれにしても私も実際に商店街何とかというふうに思いましたし、また実際に借りたいという人がいましたから、全部で4か所、5か所当たりました。どなたも貸してもらえなかった。今は全部埋まっちゃってるということで、商店街も軒並み大体行きましたけど、相和技建さんと一緒に行きましたけど、残念ながら、いや申し訳ないということで断られた経緯がございます。そういったことをみるとやはりなかなかそういった意味ではまず商店街の皆さんの御意向がやはり一番のことになるんじゃないかなと。町がこうしたい、ああしたいというふうなことであれしても、なかなかそこでは実際問題貸していただけないわけですから、ですからそういった意味ではなかなか前に進めるのは難しいというふうに思いますので、あくまでも私は

皆さんの合意の中で町はそれについて全力で支援するという事で御理解いただければというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 御答弁いただきました。前からたしか申し上げたと思うんですが、国の中でもこういう支援員みたいな方、そういうリーダーを紹介してくれるというパターンもあると思うんですが、そういうものに対しては働きかけはどうだった。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 今、瀬戸議員のほうから紹介していただくという部分、私も見ました。まず、こちらのリーダーシップを発揮していただく方の存在、こちらの重要性につきましては商工会とも情報を共有し、同じく商工会の中でもこちらのほうの重要性は認識されてるところです。

現状、意見交換会の中で先般の議会、一般質問の中でも答弁させていただいた記憶もあるんですが、中小企業診断士こういった方々も実際に意見交換会の中にはこれまで入っております。直近でいきますと8月30日に意見交換会という形で商工会の会長、部長級、それと委員長級、それと事務局、こういった方々との意見交換会をさせてもらいまして、先日の町長の所信表明、それと商工会が考えている重点的な課題、こちらの考え方を双方で共通認識しようという形になったところでございます。

こちらの意見交換会につきましては、継続して続けましょう、やっていきましょうという形だけは認識されておりますので、今後改めて話合いを持ちながら必要な支援策なども調整させていただければと考えております。

以上です。

議 長 昼休みをまたぎますが、一般質問を継続します。御承知ください。

瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 ありがとうございます。

今、私と課長の御答弁の中で違いがあるなと思ったのは、中小企業診断士とかのことではなくって、まちづくりの専門家的な要素を持った方の山北町への配置とか、そういうことはお願いできないんでしょうかということでございます。

議 長 商工観光課長。
商工観光課長 今まちづくり的な専門家という形でおっしゃられてました。一応商工会ではあります。商工会の中で例えばそれが御意見の中で必要性があるとおっしゃられたならば、そこについては役場に戻って、そこら辺再度調整という形が出てくるのかなと考えてるところです。

議 長 瀬戸恵津子議員。
1 番 瀬 戸 すごく課長の一生懸命なお気持ちも分かります。何でこんなことを申し上げるかという、48回もいろいろ意見交換会をやっていらした中で、昨年ある振興会が解散したのを知らなかったなんていう副町長の御答弁がありましたので、私は意見交換会がちゃんとできてるのかなって、それはコロナの影響があったのではないかということも書いてございますので、コロナで会合ができなかったということだと理解しました。

ですから、これからもぜひ諦めずに商工会、商店街のあそこのところ何とかお力を貸してあげて、相談に乗ってあげたりすることをこれからも継続して熱心にやっていただきたいと思うところであります。

時間がこんなまたいでしまいましたが、次に移ります。

交番についてですが、払下げ等の要望はしないとしたということです。3年は何もできないよということは聞いていましたが、神奈川県財産経営課に移管するという段階であると聞いていますという答弁なんですけど、それ以上、話は進展いかないものなののでしょうか。素人考えでございますが、この3年たって、こっちの財産課に移りました。そうしたら、町としては払下げの要望しないよと言ってるんですけど、そこに何か、あれだけ狭いところで何やるんだっておっしゃいますかもしれないですけど、相談所ができれば一番いいことなんですけど、それも100%難しいようなこと聞いてますから、あそこで狭い何十坪のところですかね。何か活用は自動販売機を置くとか、あるいは聞くところによると鉄道資料館を移してはどうかみたいなアイデアもあると聞いておりますが、そういう考えもある中で町が何も動かなくてよいのかどうかということをお考えを伺いたいと思います。

議 長 町長。
町 長 いろいろな交番の利活用というのはあるかもしれませんが、実際に非

常に狭くて、しかも真正面というような、駅から見て真っ正面というような立地条件を考えますと、私はいろいろな、仮に、今言いました鉄道の資料館とか、そういったようなことも考えても、今山北の空き家が非常に多いということを見るとそちらのほうを優先したほうが私はいいのではないかなというふうに思っていますので、何も狭いところに無理やり何かを作るとかというようなことはやはりちょっと私は現実的ではないなというふうに思っていますので、ですから、交番についてはあくまで町は払下げの要求はしなかったということですので、その辺は理解していただければというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 分かりました。駅舎の問題、交番の問題、なかなか難しい問題がいっぱい残っていますが、これやらないということ、どっちかというところとそういう御答弁で解釈いたしました。

3点目に移ります。

町長戦略室については、最後に考えはありませんと承知しました。ただ、各課にまたがっているいろいろな重要な課題がある中で、町長がこれだと思う、これは絶対にとかという問題についてのことで動かれたらさらにすばらしくなるんじゃないかなと思って質問しました。

1点だけ伺います。戦略室ということに関係はないんですが、戦略ということには関係するかもしれません。町長が、報道されていたんですが、スマートインターチェンジ、フルインターチェンジにとすごい表明されて、1,300台が5,000台ぐらいにもなるようなという、それはどのような気持ちで言われたんでしょうか。伺います。

議 長 町長。

町 長 基本的に町長戦略室は設置しないということでお答えさせていただいていますから、それについては私の考えはそういう考えです。

一方で、今現在どういう方法が実際行われているかといいますと、隣の松田もそうですけども、部外者を入れてます。顧問とかいろいろな相談役ということで、そういう可能性が今非常に多くなっている。なかなか実際には今までと違うことをやろうとするときに、なかなか同じ発想の中でやっていく

ということが難しい場合にはそういったような経験のある方を部外者で相談役として入れてる自治体が私の知ってる限りで三つぐらいあります。ですから、そういったようなことはこれから可能性としてはあるんじゃないかなというふうに思っておりますけど、それがいいか悪いかはちょっと私もまだ分かりせんけども、そういったようなほかの自治体の実際の成果とかそういったものを見ながら、私のほうとしてもそういったことも一つの視野の中に入れていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 町長からお答えいただきます。戦略室はつくらないけど、そのようなもの、人材、外部から入れてということも考えていきたいとおっしゃった。大変それはいいアイデアだと思います。どこかの町も結構そういうことで、全然部外者を入れてうまくいっているところ、聞いておりますので、ぜひ総合計画の中で、これからのことですが、町民の希望とどうしてもやらなければならないこととのせめぎ合いがあるでしょうけれども、ぜひ一生懸命頑張ってやっていただきたいと思っています。

以上です。

議 長 町長。

町 長 第6次の総合計画にはできるだけ女性の方も含めて皆さんの意見が反映するような、そういったような総合計画にしていきたいというふうに思っています。